

◆特集◆ 能代バスケットミュージアム

バスケットミュージアムの概要

バスケットの街のしろの象徴の一つでもありません。能代バスケットミュージアム（正式名称：能代バスケットボールBRARY&MUSEUM）は、能代工業高等学校バスケットボール部だけではなく、国内外のバスケットボール関連資料や書籍、グッズなどを展示するため、平成24年5月、畠町に空き店舗を利用してオープン。たくさん貴重な映像や資料を展示し、バスケットボールの歴史と文化を見て、触れて、感じる事ができる全国的にも珍しいバスケットボールに特化したミュージアムです。昨年6月に畠町から柳町へ移転をして約3倍のスペースとなったため、今まで展示できなかった資料等の展示や様々な企画展などを開催しております。

ミュージアムの展示品等

展示品の中には「SLAM DUNK」(スラムダンク)の著者である井上雄彦さんの色紙、主人公桜木花道の所属する湘北高校や、能代工業がモデルとなった山王工業のユニフォーム、もちろん漫画も全巻揃っており読むことができます。そのほかに、故加藤廣志さん、能代工業高校、田臥勇太選手、秋田ノーザンハピネッツ、NBA、シユートゲームなどのコーナーがあります。企画展も随時開催しており、全国のバスケットファン憧れの場所として親しまれております。

地域おこし協力隊バスケット担当の活動

バスケットミュージアムの2階には、地域おこし協力隊でバスケットを担当する千勝数馬さんと新田聡さんの活動拠点があります。

千勝さんは、茨城県水戸市出身で、能代ならではの環境を生かし、ストリートバスケの普及や、年代を問わずバスケットに親しめる環境づくり、ハイレベルな試合を観戦できる機会づくりに取り組む、ドリブルの音がたたく場所聞こえるまちななるように頑張っております。



地域おこし協力隊バスケット担当(左から新田さん、千勝さん)

昨年と今年が中止になった際は、「BACK TO THE NOSHIRO CUP」を企画し、第1回からの大会結果の振り返り、能代工業バスケットOBからのメッセージや過去の能代カップの映像配信を行いました。

新田さんは、千葉県習志野市出身で、5月に着任し、ミニバスクリニックなど今後様々な企画を計画しており、これからの活動に期待しております。

お2人からのメッセージ

バスケットミュージアムでは、私たちのほかにも、バスケットに詳しいスタッフが御来館をお待ちしておりますので、ぜひ遊びにいらしてください。

今後バスケットミュージアムをはじめとするバスケの街づくりの様々な活動に対して、市民の皆様をはじめ多くの方々の御支援、御協力をお願いいたします。



さくら庭と3x3コート

地域おこし協力隊とは：地域資源を活用したまちづくりを進めるにあたり、地域外からの人材を積極的に受け入れ、新たな視点や発想による地域の活性化に取り組む制度です。能代市では、「バスケット」「宇宙」「観光」「移住・定住支援」「中心市街地活性化」などのテーマで、現在9名の隊員が活動しております。

能代バスケットミュージアム

(場所) 柳町5-20
(TEL) 88-88876
(開館時間) 9時30分～18時 入館無料
(休館日) 年末年始

取材：落合範良 渡邊正人